

2022年度ジュニア強化選手選考会兼第20回アジアカデット、ジュニア&アンダー21空手道選手権大会開催要項

1. 開催期日

- 2022年4月15日（金）「U-21男女組手」
 4月16日（土）「カデット男子組手」「ジュニア男女組手」
 4月17日（日）「カデット女子組手」「男女個人形」「男女団体形」
 ※受付時間は種目によって異なります。後日JKFホームページにてスケジュールを公表するので確認の上、来館してください。

2. 開催場所

日本空手道会館

住所：〒135-8538 東京都江東区辰巳1-1-20

交通：東京メトロ有楽町線辰巳駅1番出口より徒歩5分

3. 選考会参加資格

【カデット・ジュニア・U-21全カテゴリー共通必須事項】

- 1、2021年度に引き続き2022年度も本連盟の会員登録を継続する意思がある者。
- 2、全空連公認段位（初段以上）を取得している者。

A. カデットカテゴリー

1. 参加資格

2022年7月27日の時点で14歳・15歳で、次の（1）～（6）のいずれかを満たす者。

- （1）2021年全空連ジュニア強化選手
- （2）令和3年度第29回全国中学生空手道選手権大会の個人形5位・個人組手5位までの入賞者
- （3）令和3年度第29回全国中学生空手道選手権大会の団体組手3位までの学校で監督推薦の者（1名）
- （4）令和3年度第16回全国中学生空手道選抜大会の個人形5位・個人組手5位までの入賞者
- （5）各地区協議会から次表の基準に基づいて推薦された者（各地区協議会は、次表「カデット」に該当する組手3名（各階級最大2名）および個人形男女各1名を推薦することができる。）
- （6）選手強化委員会が推薦した者

カデット（2022年7月27日現在、14歳・15歳の者）	地区協議会
男子組手 - 52kg級、- 57kg級、- 63kg級、- 70kg級、+ 70kg級	3名（各階級 最大 <u>2名</u> まで）
女子組手 - 47kg級、- 54kg級、+ 54kg級	3名（各階級 最大 <u>2名</u> まで）
男子個人形	1名
女子個人形	1名
推薦基準	※2021年度地区協議会の大会において優勝、準優勝、もしくはこれに準ずる成績を収めた者。

2、参加申込方法

①参加資格の(1)～(3)、(6)に該当する者

本連盟が参加意志の有無を確認する。別紙参加回答用紙を全空連宛に提出のこと。

②参加資格の(4)に該当する者

当該大会会場において申込書類を渡すので、大会終了後必要書類を速やかに全空連宛に送付すること。

③参加資格の(5)に該当する者

地区協議会経由で申し込みを行うこと。

B. ジュニアカテゴリー

1、参加資格

2022年7月27日の時点で16歳・17歳で、次の(1)～(8)のいずれかを満たす者。

- (1) 2021年全空連ジュニア強化選手
- (2) 第49回全日本空手道選手権大会の個人形、個人組手ベスト8までの入賞者。
- (3) 令和3年度第48回全国高等学校空手道選手権大会の個人形、個人組手ベスト16までの入賞者
- (4) 令和3年度第48回全国高等学校空手道選手権大会の団体組手第5位までの学校で監督推薦の者(1名) ※ジュニア・U-21のどちらか1名
- (5) 令和3年度全国高等学校空手道選抜大会地区大会の個人形優勝、個人組手各階級優勝者。(地区優勝者が選考会を受ける権利がある場合2位の選手が対象・3位は対象としない)
- (6) 令和4年4月に行われた、全国高体連空手道専門部主催の高体連一次選考会にて選出された団体形6チーム
- (7) 令和3年度第41回全国高等学校空手道選抜大会個人形・個人組手推薦出場者
- (8) 令和3年度第29回全国中学生空手道選手権大会の団体形3位までの入賞チーム(14歳～17歳まででメンバー変更可)
- (9) 選手強化委員会が推薦した者

カテゴリー	ジュニア(2022年7月27日現在、16歳・17歳の者)	
性別	男子	女子
組手	－55kg級、－61kg級 －68kg級、－76kg級 ＋76kg級	－48kg級、－53kg級 －59kg級、＋59kg級
形	個人形・団体形(14歳～17歳)	個人形・団体形(14歳～17歳)

2、参加申込方法

①参加資格の(1)～(3)、(8)、(9)に該当する者

本連盟が参加意志の有無を確認する。別紙参加回答用紙を全空連宛に提出のこと。

- ② 参加資格の(4)～(7)に該当する者
 全国高体連空手道専門部経由で申し込みを行うこと。
 別紙参加回答用紙を全空連宛に提出のこと。

C. U-21 カテゴリー

1、参加資格

2022年7月27日の時点で18歳～20歳で、次の(1)～(6)のいずれかを満たす者。

- (1) 2021年全空連ジュニア強化選手
- (2) 第49回全日本空手道選手権大会の個人形、個人組手ベスト8までの入賞者
- (3) 令和3年度第48回全国高等学校空手道選手権大会の個人形、個人組手ベスト16までの入賞者
- (4) 令和3年度第48回全国高等学校空手道選手権大会の団体組手第5位までの学校で監督推薦の者(1名) ※ジュニア・U-21のどちらか1名
- (5) 令和3年度全国高等学校空手道選抜大会地区大会の個人形優勝、個人組手各階級優勝者。(地区優勝者が選考会を受ける権利がある場合2位の選手が対象・3位は対象としない)
- (6) 令和3年度第41回全国高等学校空手道選抜大会個人形・個人組手推薦出場者
- (7) 第65回全日本学生選手権大会の個人形5位、個人組手ベスト16までの入賞者
- (8) 第65回全日本大学空手道選手権大会の団体組手3位までの入賞チーム登録メンバー
- (9) 各地区協議会、全日本実業団および各協力団体より次表の基準に基づいて推薦された者(形1名・組手3名(各階級最大2名))
- (10) 選手強化委員会が推薦した者

U-21 (2022年7月27日現在、18歳～20歳の者)	地区協議会 全日本実業団 協力団体
男子組 -60kg級、-67kg級、-75kg級、-84kg級、+84kg級	3名(各階級 最大 <u>2</u> 名まで)
女子組手 -50kg級、-55kg級、-61kg級、-68kg級、+68kg級	3名(各階級 最大 <u>2</u> 名まで)
男子個人形	1名
女子個人形	1名
推薦基準	ア) 2021年度地区協議会、全日本実業団、協力団体において優勝、準優勝、もしくはこれに準ずる成績を収めた者。 イ) 地区協、競技団体、協力団体間において重複しないこと。

2、参加申込方法

- ①参加資格の(1)(2)、(10)に該当する者
本連盟が参加意志の有無を確認する。別紙参加回答用紙を全空連宛に提出のこと。
- ②参加資格の(3)～(6)に該当する者
全国高体連空手道専門部経由で申し込みを行うこと。
別紙参加回答用紙を全空連宛に提出のこと。
速やかに全空連宛に送付すること。また、高体連が郵送する。
- ③参加資格の(7)、(8)に該当する者
全日本学生空手道連盟経由で申し込みを行うこと。
- ④参加資格の(9)に該当する者
当該団体経由で申し込みを行うこと。

4. 選考について

(1) 形競技

- ・個人形は当日抽選によるプール方式、点数制で行う。
- ・抽選並びに過去の実績を考慮しプール分けを行う。
- ・個人形の形はWKF認定形とする。形はラウンド毎に変える。一度使用した形は使えない(形は最大3つ用意しておくこと)。
- ・団体形はWKF認定形(分解あり)を1つ用意しておくこと。

(2) 組手競技

- ・当日抽選によるトーナメント方式で実施する。
- ・過去の実績を考慮しシードを決定する。
- ・競技時間は以下の通りとする。

	カデット	ジュニア	U-21
ベスト8まで	1分30秒	1分30秒	2分
ベスト8以上	1分30秒	2分	3分

<ジュニアナショナルチーム選出予定枠>

- ※選出は原則上位3名程度とし、種別、階級で免除選手の人数も考慮して選出する。
- ※組手・形共に決勝進出者は、原則選出する。
- ※上記を原則として選考するが、試合内容、将来性等を考慮し追加選手を選出する場合がある。
- ※団体形は1～2チーム程度を選出する。
- ※合格内定者は即時発表する。

(3) 選考会免除選手

下記選手は選考会を免除する。ただし免除選手も申込用紙は通常通り郵送すること。また、2022年7月ウズベキスタンにて開催予定の第20回アジアアカデット、ジュニア&アンダー21空手道選手権大会(以下、アジア選手権大会という)に出場希望する選手は、同大会の選考試合を実施するので参加のこと。

- ①第49回全日本空手道選手権大会の個人戦で形、組手3位以上に入賞した

者で年齢カテゴリー対象者

- ②2022年シニアナショナルチームに選出された者で年齢カテゴリー対象者
- ③令和3年度第48回全国高等学校空手道選手権大会の個人形、個人組手の優勝者（ジュニア年齢のみ・2022年7月27日時点）
- ④令和3年度第41回全国高等学校空手道選抜大会代替大会の個人形優勝、個人組手各階級優勝者（ジュニア年齢のみ・2022年7月27日時点）
- ⑤令和3年度第29回全国中学生空手道選手権大会の個人形、個人組手優勝者（カデット年齢のみ・2022年7月27日時点）
- ⑥令和3年度第16回全国中学生空手道選抜大会の個人形、個人組手優勝者（カデット年齢のみ・2022年7月27日時点）
- ⑦第65回全日本学生個人選手権大会の個人形、個人組手優勝者（U-21年齢のみ・2022年7月27日時点）

6. アジア選手権大会の選考について

- (1) 選考会の個人戦終了後、本選考会優勝選手、免除選手（アジア選手権大会出場希望者）により行う。試合順、トーナメントは当日抽選による。
- (2) トーナメントの優勝者を代表に選出する。

5. 申込方法

上記記載の各カテゴリー別の開催要項の参加申込方法を確認してください。申し込みは所定の「参加申込書」による。

締切期日 **受付は終了しております**

宛 先 (公財) 全日本空手道連盟 (企画業務課 担当小池)
〒135-8538
東京都江東区辰巳1-1-20 日本空手道会館

6. 旅費・宿泊費 自己負担とする。

7. 携 帯 品

①全空連会員証 ②健康保険証 ③マスク（予備を含めて準備のこと。選考会では連盟指定のマスクを着用すること。） ④空手着 ⑤赤帯・青帯

⑤連絡先等確認、健康チェックシート用紙

※組手選手は、安全具を各自で用意すること。

マウスピース（無色）、拳サポーター（WKF認定品、赤・青）、セーフティーカップ（男子のみ）、チェストガード（WKF認定品、女子のみ任意）、ボディプロテクター、シンガード・インステップガード（WKF認定品、赤・青）

※カデット、ジュニアも、U-21同様メンホーでなく、マウスピースとマスク着用で実施します。

※拳サポーター、チェストガード、シンガード・インステップガードは WKF認定品であること。ボディプロテクターは全空連または、WKF認定品であること。高体連検定のシンガード、インステップガードは使用不可。

8. そ の 他

- (1) 新型コロナウイルスの関係で当日は、感染対策を行いながら実施します。なお、中止や延期等ある場合は、全空連ホームページにてお知らせします。
- (2) 本選考会参加資格、免除基準は2022年度のもののみです。次年度の

参加基準とは異なります。

- (3) 選考会は2022年内に開催される国際大会の参加基準にのっとり、「カデット」「ジュニア」「U-21」の区分で実施いたします。同学年でも、生年月日によっては別のカテゴリーで選考を行う場合があります。
- (4) 参加選手は本連盟の負担により傷害保険に加入する。
- (5) 組手選手は受付時に計量を行う。
- (6) 本選考会への参加にあたっては、保護者、部活動顧問等の適切な引率・監督に従い安全に十分配慮すること。
- (7) **参加選手は、空手衣の胸、腕等のマークを消すこと（氏名刺繍は可）。**
（テーピングで隠すのは不可・取れないように白い布などを縫い付けて隠すこと。試合中に万が一取れた場合は、テーピングで隠すこと。）
- (8) **コロナ感染対策について（選手・役員・審判・他スタッフ全員を対象）**
- ア 下記項目に該当する場合は、参加を見合わせること。
- ・体調が優れない方
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国や地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- イ 当日、受付前に入口にて検温を行う。1回目に37.5℃以上を計測した方は、時間をおいて2回目を行う。（1人2回まで計測）原則、37.5℃以上の方は入館をお断りすることがあります。
- ウ 「健康チェック・連絡先等確認用紙」を事前に記入し、受付時に提出のこと。
（来館者全員対象）
- エ 会場内はマスク着用すること（練習含む）。
- オ 試合中もマスク（※連盟指定）を着用すること。※予備複数用意すること。
- カ 審判はマスク（※連盟指定）、フェースシールドを着用すること。
- キ こまめな手洗い、消毒を実施すること。
- ク 3密を回避すること。参加者同士、スタッフと距離を確保し、会話は控えること。
- ケ 選考会参加者（来館者）で新型コロナウイルスに感染した場合は、必ず本連盟に報告のこと。
- コ その他、本連盟の措置、指示に従うこと。
- サ 参加選手は選考会終了後速やかに帰宅すること。
- シ 引率者は入館できません。

※本選考会連盟指定マスク(2種)

事前にご購入ください。

①ハヤテ製 ISG 空手用マスク

下記URコードより購入が可能です。

（参加者のみ）



②ヒロタ製空手競技用マスク

【問合先】

(株) ヒロタ 03-3730-5366

tokyo@karategi-hirota.co.jp